

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News

2022. 8
No.385

ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人 (内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

コンゴ民主共和国のプウェト村で
変革に取り組むリーダーたち (P.4)

Contents

国連が最新の飢餓統計発表
2022世界食料デーのお知らせ P. 2-3

Hunger Zero 活動報告 P.4-5
ジェロムスタッフ/コンゴ民主共和国・訪問

■ 続報! ウクライナ難民緊急支援 P.6

チャイルドサポーター活動報告 P.7

速報! 大阪マラソン 2023 寄付団体に選定されました P.8

中、重度の食料不足人口23億人…

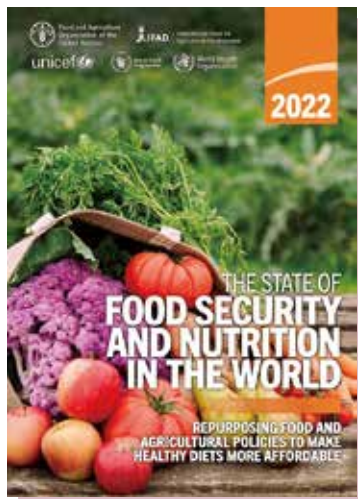
※コロナ拡大前より3億5,000万人増加

飢餓人口8億2,800万人…

※前年より4,600万人増

5歳未満の子どもの栄養失調…

※推定4,500万人が最悪レベル



国連は7月6日「世界の食料安全保障と栄養の現状 2022年版」(注)を発表し、世界の飢餓人口が2020年から4,600万人増え、2021年に8億2,800万人になったと報告しました。また中程度から重度の食料不足人口は、世界人口の約3割にあたる23億人となり、新型コロナ拡大前より

3億5,000万人増加しました。特に5歳未満の子どものうち、推定4,500万人が栄養失調の最悪レベル「消耗症」(死亡リスクが最大12倍)に相当し、また1億4,900万人は食生活で必須な栄養素が慢性的に不足して、成長や発達が阻害されているとしています。しかしその一方で、3,900万人は太りすぎであるとも指摘しています。

SDGs 指標「飢餓をゼロに」の達成が困難に

今後の予測としては、仮に世界経済が回復しても2030年には、なお6億7,000万人(世界人口の8%)が飢餓に直面しているだろうと、これは「2030年までに世界の飢餓をゼロに」と、SDGs(持続可能な17の開発目標)で定めた、2015年時点とほぼ変わらないの飢餓人口になっています。加えて2022年2月に始まったウクライナ戦争で、国際的なサプライチェーンが混乱し、穀物、肥料、エネルギー価格が押し上げられ、世界的な食料不安、栄養不良、不平等がさらに拡大するとしています。

報告書の発表に合わせ、WFPのピーズリー事務局長は、新型コロナ拡大により飢餓人口が急増した前年に続き、2022年はウクライナ戦争により飢餓人口がさらに増加するため「迫る危機を回避するためには、すぐに行動する必要がある」と述べています。

注：同報告書は国連食糧農業機関(FAO)、国際農業開発基金(IFAD)、国連児童基金(UNICEF)、国連世界食糧計画(WFP)、世界保健機関(WHO)が共同で作成し、毎年7月に発表されています。日本語による報告はユニセフHPを参照。

2022 世界食料デー Small Action Everyday!

～小さなことから一歩ずつ～



2022 世界食料デーポスター

私たちもアクションを起こしましょう

あなたは世界の飢餓に困しむ人のために、どんな「アクション」を起こしますか。

立ち止まって私たちの生活を見直す時、私たちがどれ程世界と繋がり、恩恵を受けているかを知ることができるでしょう。小さなことでも一歩ずつ、「アクション」を起こしましょう! 買いすぎ、作りすぎで食べ物を腐らせたり捨てたりすることはありませんか。

- ぜひお近くで開かれる世界食料デー大会に参加してみてください。右ページの各地での大会日程(予定も含む)をご参照ください。最新情報は、9月に降にウェブサイトでお知らせいたします。
- ハンガーゼロのホームページや、YouTubeチャンネル「ハンガーゼロ」をご覧ください。SDGsも学べます。
- 毎日の食生活を見直して「食品ロス」がないか考えてみませんか。
- お友だちに呼びかけて、どんなスタイルでも構いません「世界食料デーイベント」を開いてみませんか。



2021年沖縄南部大会

2022年大会	開催日・期間
札幌	10月中／7日(金)WFD講演会
仙台	10月15日(土)
千葉北	10月29日(土)
Tokyo WFD+Gospel	調整中
滋賀	10月8日(土)
京都	10月30日(日)
南大阪	9月23日(金)
@キリタン	10月20日(木)
東大阪	10月19日(水)
八尾	調整中
芦屋	10月16日(日)
広島	10月16日(日)
柳井	10月22日(土)
須崎	調整中
鹿児島	10月25日(火)
沖縄南部	10月10日(月)
沖縄北部	10月22日(土)
沖縄宮古	10月23日(日)
沖縄中部	10月30日(日)
高校生による世界食料デー プレゼンテーション大会	調整中 ※高校限定ウェブ配信
小規模会場・対象者限定などの形で実施予定	
浜松、宝塚、奈良北、八尾河南、奈良南、関門	
開催検討中の大会（2会場）	
横浜、名古屋	
上記は2022年7月23日現在のものです。 今後、変更や追加もあります。なおコロナ感染の 拡大で中止や運営方法が変わる場合もあります。	

ハンガーゼロ親善大使に 白鞘慧海さん就任

(しらさや・えみ)



このほどハンガーゼロの親善大使として新たにゴスペルシンガーの白鞘慧海さんが就任しました。白鞘さんは、これまででもハンガーゼロの支援者として、世界食料デーTokyoWFD+Gospelの開催をしていただくなど積極的な協力を続けてくださっていました。今後、親善大使として主に音楽活動を通じて、ハンガーゼロの支援の輪を広げてくださることを期待しています。

2022WFDテーマソングを制作中

現在、白鞘さんは今年の世界食料デーテーマソングを制作してくださっています。提供される曲は制作中の世界食料デー動画や食料デー大会会場などで使わせていただきます。なお、本紙では就任式の模様や白鞘親善大使のインタビュー記事を掲載する予定です。

■ 白鞘慧海 プロフィール

ゴスペルシンガー&ソングライター、上野芝キリスト教会協力牧師、昭和音楽大学講師

Everlasting LOVE Project (えばらぶ)代表

早稲田大学在学中より、シンガー&ソングライターとして活動を始め、1995年 ビクターエンタテインメントよりメジャーデビュー。NHK『みんなのうた』やCM、TVなどで楽曲オンエア。2002年 東京でクリスチャンとなる。所属教会にて、副牧師として仕えた後、2014年、ゴスペルシンガーとして音楽活動を開始。音楽を通して、神様の愛と希望、癒やしや励ましを人々に伝えていくことをビジョンとし、各地でコンサート活動を始める。2016年から、昭和音楽大学で教鞭を執り、次世代の音楽教育にも携わる。2017年CD「BLOSSOM」発売。2018年、夫の谷口卓嗣師と「Emi & Takuji Music Ministry」スタート。現在、チャペルコンサート、ゴスペルコンサート、病院や少年院、福祉施設訪問などを行い、各地に賛美を届けている。毎年、世界食料デーに合わせて「World Food Day+Gospel」を開催している。www.emishira.com

Hunger Zero 活動報告 **コンゴ民主共和国**

訪問地：コンゴ民主共和国とザンビア

① HOLC:キンシャサ、ルブンバシ、プウェト、カレミー

② AINOTE ザンビア：ザンビア

訪問期間：5月4日～6月14日



失敗も糧にしつつ地域変革



報告・ジェロム・カセバ HOLC 代表

コンゴは乾季に入り、涼しい気候になりました！ルブンバシの最高気温は約25℃、最低気温は12℃です（信じられませんね！）。しかし、この涼しい気候は2ヵ月しか続かず、8月末からはまた猛暑に戻ります。この涼しい乾季の砂埃が舞う中、HOLC スタッフ3名と一緒にルブンバシ、プウェト、カレミーを訪れました。地域が取り組んでいる持続可能な活動の視察と評価が目的でした。（カレミーとザンビアの報告は次号でいたします。）これらの活動地域に向かう前に、まずキンシャサで行われている孤児たちの給食プログラムの活動を視察しました。

キンシャサ、ルブンバシの孤児院で給食提供

キンシャサでの給食プログラムは、おおむね順調に進んでいます。キンシャサの112人の子どもたちは、それぞれ元気に学校に通っています。私たちの支援と他団体の支援（食料品を提供）により、孤児院の子どもたちは1日1～2回の食事をとっています。また孤児院ではキャッサバ、トウモロコシ、地元の野菜などをキンシャサ郊外で栽培して、孤児院で暮らす子どもたちが必要とする食料を確保しています。この農作業は、HOLC が地元のリーダーたちに研修

を行い自立心を促した結果、2020年から孤児院のリーダーたちによって行われるようになりました。このことは持続可能な地域づくりに欠かせない、自立して働くという考え方の実践に役立っています。孤児院は昨年10袋以上のキャッサバを生産することができました。

ルブンバシでも同じように給食プログラムが中断されることなく順調に進んでいます。

農業プロジェクトおよびプウェト村の人々との出会い

プウェトに到着して数時間後、今年の農作物は不作であるという悲しい知らせが飛び込んできました。2014年からプウェトの地域ではとても良い収穫を得られていました。しかし今年はこの地域の雨不足のため、良くありませんでした。その上、食料品を含む輸入品の価格が高騰し、すでに苦境に立たされている地元の人々にとって、事態はより深刻なものとなっています。（ロシアとウクライナの戦争が原因です）。

地元のリーダーを交えた地域の会議では、新メンバーを発表、また地域のメンバーが約束事を守るように再指導すること、地域の土地の問題など、さまざまな点について話



ロングライフタウン寝屋川公園 フィレンツェの丘

私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。



Health & Natural Beauty

ロングライフグループ



0120-550-294

受付時間 9:00～18:00 年中無休

大阪本社 / 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社 / 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階
 ロングライフグループ拠点：北海道／埼玉／東京／神奈川／千葉／静岡／愛知／大阪／兵庫／京都／大分／沖縄／中国（青島）／韓国／インドネシア（ジャカルタ）



しましたが、最も話題になったことは、今年の農作物が不作に終わったことでした。会議を締めくくるにあたって私はメンバーに、愛の中で生き、働き、愛がすべてに優先するようにと励ましました。

地域のリーダーたちとともに、私たちは活動を改善し、より良い結果を得るための方法に焦点を当てました。地域の人々は日々の困難や今後どのように前進していくつもりかを分かち合ってくれました。

人々を励まし続ける HOLC のパメラ

一般的にプウェトは雨が多い地域ですが今年の状況は違いました。雨量が足りないのです。多くの作物が、芽を出すことができませんでした。農家は収穫も、収入も、食料の供給もままならない状況でした。このような状況にもかかわらず現地の人々は、来年はきっと良い収穫があると、前向きであるように見えました。私は彼らに、神に信頼し続け、今年とこれからの数年間にもっと多くの雨が降るように祈ることを勧めました。HOLCのリーダーのパメラはとも元気で、健康状態も良好です。彼は人々を励まし続け、



タピオカから主食となるウガリ(穀物の粉)を作ります。

村の中で良い模範となっています。最後に、西南学院中学校・高等学校(福岡)から寄贈されたマスクを配布しました。日本からの貴重なマスクを受け取って、みんな喜んでいました。

2021-2022年シーズンの収穫について

この農期(2021-2022年)には、ピーナッツのほか、トウモロコシ、キャッサバ、米などの作物を植えることを、地域間で話し合っ決めてました。すべての地域がそれぞれ1ヘクタールのピーナッツを栽培しました。このための準備は2021年9月から始まり、12月頃に終了しました。

収穫は2022年4月頃からは行われ、6月頃にすべての地域で終了しました。収穫が段階的に実施されたことが重要な点です。それは各地域の土地の肥沃度が異なり、その土地の状態によって作物が実るスピードが違うので、土地の状態に合わせて調整されたことです。また、マンパワー不足の問題があったため、農作業に取り掛かるタイミングをずらすことで、労働力が分散ないように工夫をしました。一般的に、雨不足のため、どの地域でも収穫は芳しくありませんでした。この不安定な天候は、私たちの地域だけでなく、他の村の農家にとっても容易なことではありません。

収穫量は、全地域で20袋でした。通常、十分な雨が降れば、50袋のピーナッツを収穫することができます。



プウェト村のリーダーのマリスさん

決意と覚悟をもって前進し続ける

プウェトの地域の人々には回復力があります。この失敗を彼らは次の季節に役立つ経験と捉えています。とくに、いつ種まきを始めべきかななどの反省点も確認できました。ですから日々の困難にもめげず、あきらめずに前進し続ける。幸いなことに、この失敗があっても地域を変えていこうという彼らの決意と覚悟は変わっていません。これからプウェトの地域の活動はさらに拡大していくと思います。HOLCのパメラや地元のリーダーたちが行っている活動に、新しい村々が関心を寄せているからです。

(次号に続く)

備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう



皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました!



食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。



おいしさとお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰 since 1995

〒329-3147 栃木県那須塩原市東小屋295-4
TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索

続報！ウクライナ難民緊急支援



㊦ハンガーゼロが避難家族のために確保しているアパート ㊦㊦王ボランティアがお見舞いした婦人の家族とともに

月井サムエル「2回目の活動を終えて」

UKRAINE というウクライナの団体と協力して活動する中で、ウクライナ国内の避難民に大きな支援の必要があることがわかったので、ウクライナ国内でアパートを借りて、主に避難家族が入居できるように、支援体制を作りました。



ハンガーゼロが比較的安全な地域でアパートを借りて管理して、SAVE UKRAINEがそのアパートに東部からの避難家族を送り、地域の教会が入居した家族の助けをするという支援体制です。今回はイバノフランコフスクという街に2軒のアパートを借りました。今後リヴィウという街にもアパートを借りる計画です。

後日、ポーランドに戻って大量の物資を積み込み、イバノフランコフスクの教会を訪れて、物資をお渡ししました。牧師先生と一緒にアパートを確認して、大変喜んでいただくことができました。このイバノフランコフスクの教会は始めて4年ほどの若い教会ですが、毎週数十人の避難者が東から西に逃れるための中継地点となっているそうです。

私が訪問した時も10代の兄弟3人が宿泊していました。この兄弟は、東部のロシアに占領された町におり、脱出しようと試みたのですが、検問所でロシア兵に止められて危険な状態だったそうです。しかし、兄弟で一緒にお祈りしていると検問所の兵士が他のロシア兵と交代になり、通って良いと言われて脱出することができたのだそうです。

王さんに活動をバトンタッチ

ここまでで私は自分の働きに区切りをつけることにしたので、今後は新たなハンガーゼロの仲間、王さんに活動をバトンタッチして帰国することにしました。王さんはウクライナの街リヴィウの教会を拠点として使わせていただけることになり、国内外への避難民の支援をハンガーゼロのボランティアスタッフとして、フルタイムで働いていただきます。王さんへの応援をよろしくお祈りします。

ハンガーゼロの借りたアパートはすでに2つの家族が使用しており、王さんは家を無くした家族を安全な場所に避難させるためにウクライナを走り回っています。私は王さんたちを通して日本への避難を希望するウクライナ人の対応を日本から行なっていきます。

私はワルシャワで最後に日本への渡航希望者（7月13日 来日）と面談して飛行機に乗り、6月30日に帰国しました。

皆さんからの応援とお祈りに感謝します。現地ではほとんど一人で動いていましたが、背後にたくさんの方々の思いや支援があることをいつも感じて、100人力の気持ちと態度でいることができました。（月井ボランティア）

王ボランティア「リヴィウの病院に食料支援」

現在ウクライナの西部の町リヴィウにある病院で治療を受けている婦人をお見舞いしました。彼女によると「10日前、東部にある家の庭で娘と電話で話している時、ミサイルが飛んできて、その時に左足の膝から下を失いました」突然の悲劇の状況は電話の向こうで娘さんがずっと聞いていたそうです。婦人は近所の人たちによって助けられました。ハンガーゼロはこの病院におられる方々に対して食料をお届けすることにしました。



（王ボランティア）

8/14 から1週間の予定で森祐理親善大使及びハンガーゼロスタッフ田村と安達をポーランド活動地に派遣する予定です

【ウクライナ緊急支援募金】

募金は…①郵便振替 ②ホームページからのクレジットカード決済利用の2種類

①郵便振替 00170-9-68590 一般財団

法人日本国際飢餓対策機構 「ウクライナ緊急支援」と明記

②ホームページ 募金画面からクレジットカード、コンビニ決済がご利用できます。



地域のリーダーを集めて開催される「早婚防止」セミナー

Child Supporter
チャイルドサポーター
活動を支援する
そこで暮らす人々の声

バングラデシュの女性と早婚



人口の半数以上が貧困レベル以下であるバングラデシュで、多くの子どもを養うのはとても大変です。子どもたち、特に女の子は邪魔者扱いされ、食口を減らすために結婚させられてきました。しかし、思春期も迎えていない少女が肉体的また精神的に結婚の準備ができているということは決してありません。FH（国際飢餓対策機構）バングラデシュは社会悪であるこの早婚を根絶するために、地域役人を中心に地域の要人や高校の教師、地域リーダーたちを招いて「早婚防止」セミナーを地元の高校で開いたり、子どもや保護者にも早婚の悪影響に関するメッセージを広めています。

アズマさんと家族に起きた変革

アズマさんは、自分が苦しむのは運命だと思っていました。夫は文化的な習慣に背くことを恐れて、彼女が収入を得るために外で働くのを許してくれませんでした。アズマさんは言います。「私たちの地域では古くて間違った慣習が一番の障害になっていました。食べ物、衣服、教育はすべて女の子より男の子に多く与えられ、女の子は家族に無視されていました。この地域の人たちは女の子の教育に関心でした。女は主婦になって家にいることになるのに、教育を受けてどうするんだ、とみんな言っていました。早婚が一般的だったのです」。

食べるものや収入の不足が続いているのに、アズマさんが収入を得る手立てはありませんでした。精神的に疲れ果てて、彼女は隣人や地域から孤立していました。

地域に全人的な変革をもたらす活動の1つとして、FHは間違った慣習に挑み、有害な行動を阻止する働きかけをしています。FHバングラデシュは男女双方のリーダーシップチームを作ってトレーニングを行い、地域全体の利益を生み出す有望なリーダーを育成することができました。その結果、アズマさんの住む地域に変革が起こり始めたのです。

アズマさんは、様々な女性のグループが地域にあり女性が自信を身につけ、リーダーとして成長していることを知り、

興味をそそられて参加することになりました。その結果アズマさんの生活は大きく変わりました。女性グループに加わった彼女は、収入向上を助ける「貯蓄とローン」のグループに入って会計係をまかされ、また地域内のこれらの活動を管理する地域組合の仕事も始めました。

地域の家庭が貧困から脱却すれば

「FHの活動に参加した結果、私は家庭内で安らぎを感じるようになり、家族はとても喜んでいました。」彼女は晴れやかに語ります。「今は近隣の女性たちに様々なことで助言をしたり、グループのリーダーをしています。私は自分に誇りを感じています。これはすべてFHのお陰で、とても感謝しています。」

アズマさんは家族と地域全体に対して大きな計画を持っています。「家族を経済的に豊かにして強くしたいし、地域もそうなることを夢見ています！地域の家庭全体が貧困から抜け出して子どもたちが学校に行くようになれば、早期結婚のない社会になるでしょう！」

※8面に短期サポーター募集のお知らせがあります。



Child Supporter
チャイルドサポーター 2つの支援方法

子どもを支援する

支援地域の特定の子どもとつながり、地域で行われる活動をご支援いただけます。あなたと出会い、応援を受ける子どもは自分が愛される大切な存在であることに希望を抱き、地域を変えるひとりへと成長していきます。

月々4,000円

子ども1人を支援することができます。

活動を支援する

子どもたちが暮らす地域で行われる様々な活動をご支援いただけます。地域に住む人々がそれぞれの役割を果たし、子どもを取り巻く環境の改善と質の向上を目指します。

1,000円～

月々または自由なタイミングで支援できます。

問い合わせはCS事務局へ 電話直通TEL072-920-2226



ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18ヵ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。



ハンガーゼロコーヒー 「3袋セット」

味わい深いエチオピア・モカブレンドコーヒーとしてご好評いただいている、ハンガーゼロコーヒーの特別セットです。アイスでもホットでもおいしいコーヒーをこの機会に是非お求めください。**3袋セットを送料込み 3,000円**の限定特別価格でお届けします。ただし、北海道・沖縄は500円加算となります。

お支払い：後払いで以下①②

- ①銀行振り込み ②郵便振替

お申し込み：

(株)キングダムビジネス
スマートフォンは右の
QRコードから



電話注文：06-6755-4877

ハンガーゼロ海外駐在員短信

- ジェロム・カセバ(コンゴ民主) 6月にコンゴから帰国。
- 酒井保・慶子(フィリピン) 再入国、活動中
- 小西小百合(ボリビア) 再入国、活動中

大阪マラソン2023 チャリティ寄付団体に選定

ハンガーゼロは、2023年2月26日①に開催される「第11回大阪マラソン」のチャリティー事業の寄付団体(全30団体)として選定されました。

同マラソンでは3万2千人のランナー募集を8月上旬から行う予定です。なおハンガーゼロを応援する「チャリティーランナー」のエントリー受付は9月1日からとなります。詳細がわかり次第ホームページ等でお知らせします。

Child Supporter チャイルドサポーター

カンボジア・スバイルー集落

短期チャイルド サポーター募集



あと2ヵ月で受け付け締め切りとなります。サポーターさんとの出会いを待っているチャイルドが25名います!!この機会に短期サポーターになって、愛の手を差し伸べてくださいませんか。申込をお待ちしております。ホームページからでも申込ができます。

申込締切：9月末

Hunger Zeroの SNS ソーシャル ネットワーキング サービス

詳しくはこちら

YouTube Facebook Twitter Instagram LINE

国際協力に参加する活動の第1歩目として... YouTubeのチャンネル登録や各種SNSのフォローをお願いします!

サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

フリガナ 氏名	
(TEL)	
住所	〒
申込日	年 月 日 NL385号

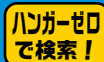
<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月()円 □(1000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月()円 □(500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落し申込書を送って下さい。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... 5 2 3 4 0

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック facebookでハンガーゼロで検索

- 募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
- ①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
 - ②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1
TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F
TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾンク米202号
TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,427,718ポイント(円)のご協力(23,651件)がありました。Tポイント募金で検索。
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたしません。